



第 1620 回例会

平成 22 年 6 月 21 日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

次年度 クラブ協議会

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」

3. 出席報告

会員総数 69 名 出席者数 48 名

出席率 69.57% 前回修正出席率 75.36%

4. 会長スピーチ

みなさんこんにちは！ 残すところ、6月28日の最終例会だけとなりました。この会場でのあいさつは、今日が最後です。

今年度は、会長方針として「明るく、楽しく、健康で」そして、「増強なくして活性化なし、奉仕の喜び、みんな仲良く輪になって」と皆様のご指導、ご協力のおかげで、一年間、努めてこれました。深く感謝いたします。みなさん、有り難うございました。

会長 花畑 重靖 君



5. 幹事報告

幹事 寺下 卓 君

○例会臨時変更のお知らせ

海南西RC 6月24日(木) 和歌浦温泉「満波」

○休会のお知らせ

有田南RC 6月22日(火)

○7月のロータリーレート

1 \$ = 92 円

○クラブ細則の変更について

規定審議会の決定と定款の変更に伴い、細則の変更について、既に各会員の皆様に郵便でご通知させていただいております。最終例会でお詫びいたしますので宜しくお願ひします。

○姉妹クラブの台湾・彰化東南RC訪問について

今週の6月24日～27日まで、彰化東南RCの創立15周年記念式典に当クラブから、6名参加が参加します。例会終了後に打合せをします。

6. 次年度クラブ協議会

次年度幹事 上野山雅也君

本日は、次年度のクラブ協議会として、各委員会別に座っていただきました。次年度7月のプログラムをお配りさせていただきました。7月12日はガバナー補佐を迎えて、クラブ協議会を行います。委員長の方は本日、委員会で活動計画や意見等を集約いただき、発表できるように準備しておいてください。また、7月26日は、ガバナー訪問となりますので、宜しくお願ひします。



7. 閉会点鐘

次回例会 第 1619 回例会：22 年 6 月 28 日(月)

「美登利」18:30~

2009-2010 年度 最終例会

ニコニコ・BOX

花畑 重靖 君



残すところ、6月28日の最終例会だけとなりました。一年間、有り難うございました。

谷脇 良樹 君

本日、宜しくお願ひします。

花田 宗弘 君

小椋さんに螢の里へ案内していただきました。

名手 広之 君

この会場での最後の例会です。ご協力有り難うございました。

寺下 卓 君

〃

7月プログラム

5 日 夜間例会 19:00~

新会長方針発表

新旧会長・幹事バッジ交換

お誕生・結婚祝い

12 日 例 会 12:30~

ガバナー補佐訪問（クラブ協議会）

19 日 祝日休会

26 日 例 会 12:30~

ガバナー公式訪問

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか
- ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か
- ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：花畑 重靖 幹事：寺下 卓 SAA：名手 広之

RI国際大会



感動的な講演と興行に満ちた

モントリオール大会が幕を下ろす

6月23日、カナダ、モントリオールにて、154の国々から18,000人のロータリアンが参加したRI国際大会が幕を閉じました。ポリオ撲滅活動を完遂

するよう激励を受けた参加者は、活動の効果はすぐに目に見えて分かるようなものではなくとも、必ず変化を生み出すものであるとの思いを新たにし、それぞれの帰途へつきました。

「ロータリーの奉仕プロジェクトに対する皆さまの貢献は計り知れません。良い影響というのは、なかなかはっきりと形になって現れるものではありませんが、皆さまの活動が大きなインパクトを与えていたのだということを、どうか忘れないでください」と、リトルロック・ロータリークラブ（米国）の会員で、ハイファー・インターナショナル会長であるジョー・ラックさんは話しました。

本会議と分科会で盛りだくさんとなった4日間の国際大会を通じて、参加者は多くの貴重な講演者の話を聞くことができました。ジョー・ラックさんをはじめ、ベストセラー作家であり、アフガニスタンとパキスタンで学校を設立した中央アジア研究所の共同設立者、グレッグ・モーテンセンさん、ボイスカウト米国連盟の事務総長であるボブ・マズーカさん、著名なカントリー・ミュージシャンで慈善活動家でもあるドリー・パートンさんなど、いずれも素晴らしい講演でした。また、講演のほかに、ソロとアンサンブルを織り交ぜた歌で知られるアイルランドの歌唱グループ、ケルティック・サンダー、幻想的なアクロバットで観客を魅了するシルク・ド・ソレイユ、美しい歌声を披露してくれたテノール歌手、ラッセル・ワトソンさんなど、参加者はさまざまなエンターテイメント・ショーを楽しむ機会にも恵まれました。ドリーさんは、自身のヒットソング「9 to 5」を歌いながらステージに登場し、子どもの識字教育を促進するドリー・ウッド財団の「イマジネーション・ライブラリ」プログラムに協力するロータリーに感謝の言葉を述べました。パートンさんはまた、同プログラムのために作詞したという「Try」を披露し、ロータリー財団管理委員会

のジョン F. ジャーム副委員長との質疑応答では、ユーモアに満ちた話を聞かせてくれました。ロータリーとボイスカウトの長期にわたる関係について話をしてくれたマズーカさんは、今日、多くの若者とその家族が直面している危険で健康に害を及ぼす生活の変わりに、健全で活力に満ちた生活の選択肢を青少年に提供することの大切さを訴えました。また、マズーカさんは、ロータリーの「四つのテスト」とボイスカウトの「掟と誓い」のあいだの多くの類似点について説明しました。ヨルダン王国のヌール王妃は、世界平和と地球規模の調和に貢献し、世界に変化をもたらしていく上で先駆者として活躍するロータリアンに称賛の意を表しました。ヌール王妃はまた、世界の平和にとって大きな脅威となる環境破壊と核兵器に言及し、国際理解と親善を促進するために活動する自身の財団プログラムを紹介しました。

世界保健機関の世界ポリオ撲滅推進計画責任者であるブルース・アイルワードさんは、ポリオ撲滅が間近に迫っている現在の状況と、ロータリーが描くポリオのない世界が現実のものとなろうとしていることを大会の出席者に語りました。「ロータリアンの皆さまの善意があったからこそ、ポリオ撲滅活動を抜本的に推し進めてくることができました」元ポリオ患者で、ホワイトホース・ロータリークラブ（カナダ）の会員であるラメシュ・フェリスさんは、大会会場であるモントリオール国際会議場からモントリオール旧市街までの道のりを、手こぎ式の自転車で移動しました。これは、Bonsecours Market の外壁に、ポリオ撲滅を訴える「En finir avec la polio (End Polio Now)」の文字をイルミネーションで照らすイベントの一環として行われました。

モーテンセンさんは、世界をより良い場所にするためにこれからも頑張りましょうとロータリアンに呼びかけ、アフガニスタンとパキスタンでのポリオ撲滅に貢献するロータリーに感謝の意を伝えました。モーテンセンさんはまた、ロータリーと自身が運営する非営利組織のあいだにおける類似点を指摘し、地域のリーダーを交えた協力関係づくりの大切さを強調しました。「この会場におけるロータリアンまたは名誉ロータリアンである皆さまは、全員、人を助けるという使命を背負った方々です」アラバング・ロータリークラブ（フィリピン）の会員で、Tuloy 財団の創設者であるエヴァンジエリスタ神父は、ストリート・チルドレン支援のために早急に手を打つことの必要性をロータリアンに訴えました。「貧困に苦しむ子どもたちちは、一休みすることすらできません。私や皆さんにとって、1~2日の休息は何の問題にもならないでしょう。しかし、路上生活の厳しい現実にさらされてきた子どもたちにとっては、ほんの一休みすることさえ一種のぜいたくなのです」

